

70689

秘書室譲受資料

旧番号  
IAx21(216)

新解

日本銀行

井上準之助

お暇取のついで

此書海難あり

海難あり 其の美しき

氏へ料理集を提出

同氏の法意を却甲

以て譲るとして其の現

探り知る者の努力を誠

可なり 其のついで

作られたる海難集

美しきものなり

手紙に水も何れ

力

以銀乞乞之其現時

探者智古の努力也誠

可也... 智古の努力也

信... 智古の努力也

美... 智古の努力也

身... 智古の努力也

乃... 智古の努力也

亦乞

乃... 智古の努力也

井上深之助

乃... 智古の努力也

圓

六二,〇〇〇,〇〇〇

内損失

信託引当額

含又ス

一〇,〇〇〇,〇〇〇

損失引当額

二〇,〇〇〇,〇〇〇

結算

一五,〇〇〇,〇〇〇

~~利息引当額~~

支拂利息

一七,〇〇〇,〇〇〇

七,〇〇〇,〇〇〇

合計 二〇,〇〇〇,〇〇〇

合計 二四,〇〇〇,〇〇〇

内入

二九,〇〇〇,〇〇〇

貸方入金  
五〇,〇〇〇,〇〇〇

利息支拂

能ト見テ

差引

五,〇〇〇,〇〇〇

経費(借約ホリ) 年々利益

救可理未

無配当

三  
四,〇〇〇,〇〇〇

半期利益

二,〇〇〇,〇〇〇

貸方  
~~貸方~~



(1)

整理上必要ナル諸件ニツキ現狀ノ説明

一、固定貸金總額

内譯

外	内	朝	滿
國	地	鮮	洲
	一	一	二
六	七	一	六
六	七	四	六
五	〇	〇	九
二	三	六	三
〇	〇	〇	八
〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇

六二六九九〇〇〇

一、右固定貸ノ中決定的缺損額

内譯

外	内	朝	滿
國	地	鮮	洲
一		一	六
四	三	六	六
〇	五	五	〇
〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇

約一〇〇〇〇〇〇

一〇〇〇〇〇〇〇圓



但最嚴格ノ査定ニヨレハ貳千萬圓ヲ計上ス（検査部調査）ト雖モ  
彈力屈伸ノ餘地アリト認ムルモノハ之ヲ算入セス

上記額ハ決定的缺損ト認ムヘキモノニシテ復活ノ餘地ナキモノノ  
ミヲ計上シタリ故ニ稍嚴密ニ査定セハ約千五百萬圓ト推定シ得ラ  
ルルモ將來復活能力ヲ認メ得ラルルモノニシテ決定的缺損ト斷定  
シ得サルモノハ之ヲ除外セリ而シテ右壹千萬圓ハ問題ノ餘地ナシ  
ト認メタル査定額ナリ

### 一、利子支拂不能額

現状ノ下ニハ約五千萬圓ヲ算ス若シ充分安全ノ計算法ヲ取レハ當  
分ハ上記固定貸總額全部利子支拂不能ト見テ可ナリ

### 一、借入金

コール、賣出手形、日銀等短期借入資金合計殘高毎ニ九千萬圓ヲ  
下ラス

### 一、損益計算

二月末日總勘定殘高ニ基キ各種ノ算法ヲ試ミ到達シタル結果ハ一  
ヶ年收入利息約參千萬圓内外支拂利息凡千<sup>七</sup>百萬圓及總經費約七百

(3)

萬圓乃至八百萬圓合計貳千四百萬圓乃至貳千五百萬圓差引純益一  
ヶ年五百萬圓乃至六百萬圓半期貳百五十萬圓乃至參百萬圓ヲ計上  
スルト見ルヲ妥當ト認ム但右ハ現狀ヲ基礎トシタルモノナルヲ以  
テ固定貸整理ノ成否及營業伸縮ニヨリ増減ヲ弁レス

別表參照

以上記載シタル數字ヲ基礎トシ整理方法ヲ立ツルコト左ノ如シ

一、缺損償却ニ關スル件

第一案

確定缺損壹千萬圓償却

（半期純益ヲ參百萬圓ト假定セリ  
實際ニ於テハ貳百五十萬圓程度ニ減少ス  
ヘキ可能性アリト認ム）

（第一期無配當トス）

一、當期利益

≡ 〇 〇 〇 〇 〇

一、前期不公表

≡ 〇 〇 〇 〇 〇

繰越利益

一、各種積立金

四 八 〇 〇 〇 〇

ヨリ補填

計 一 〇 〇 〇 〇 〇

本案ニヨレハ第二期（下半年期）ヨリ配當（六歩迄）ヲ始ム

第二案

（二期無配）

一、第一期利益

≡ 〇 〇 〇 〇 〇

一、前期繰越利益

≡ 〇 〇 〇 〇 〇

(4)

第三期ヨリ配當ヲ始ム（六歩乃至八歩）

一、第二期利益	≡〇〇〇〇〇〇〇
一、積立金ヨリ	マハ〇〇〇〇〇〇〇
補 填	計一〇〇〇〇〇〇〇〇〇

第三案

（減 配） 六歩配當ニ止ム

一、當期利益 ≡〇〇〇〇〇〇〇

右利益ノ内ヨリ配當資金マ五〇〇〇〇〇〇〇圓外五〇〇〇〇圓計貳百萬圓ヲ充當シ殘額マ〇〇〇〇〇〇圓及前期繰越ニ〇〇〇〇〇〇計≡〇〇〇〇〇圓ヲ以テ缺損償却ニ充テ殘額六八〇〇〇〇〇圓ハ每期百萬圓宛償却スルコト、シ千萬圓ヲ償却スルニ初期ヨリ通算シ八期ヲ要ス

第四案

（現狀維持）

一、當期利益 ≡〇〇〇〇〇〇〇

前期不公表  
繰越  
三二〇〇〇〇〇

合計 五二〇〇〇〇〇

ノ中ヨリ五〇〇〇〇〇圓一割配當ヲナスニ要スル資金一ヲ差  
引セ〇〇〇〇〇圓若干ヲ缺損償却ニ充テ殘額ヲ繰越ス

本案ニ依レハ償却ノ成算立チ難ク且ツ損益計算ノ現状ニ於テ非常  
ニ無理ナリ

以上諸案ノ中第一案ヲ以テ最良ト認ム第二案亦實質ニ於テ大差ナシト  
認ム第三案ハ姑息タルヲ免レス第四案ニ至リテハ最拙劣蝟配ノ非難ヲ  
免レ難ク到底堅實ヲ生命トスル銀行經營ノ根本善ト相容レスト認ム既  
ニ相當巨額缺損額アルコト世間ノ耳目ヲ惹キ常行信用上ニ一大脅威ヲ  
蒙リタル今日姑息ノ療法ハ徒ラニ疑念ヲ停滯セシムルニ止リ毫モ改善  
ノ實ヲ興ケス營業益々不振トナリ經營ヲ萎微困難ニ陥ラシムルノミ速  
ニ根本的の外科療法ニヨリ一舉ニ病根ヲ除クニ如カス第一案又ハ第二案  
ニヨリ徹底的の整理法ヲ施ストキハ一旦失墜シタル信用ハ忽チ恢復シ從

テ營業收益ヲ増加スルニ至ルヘキハ信シテ疑ハス若シ然ラスシテ姑息手段ニヨリ第三第四ニ依ランカ恢復ハ遲々トシテ進マス遂ニ致命的衰弱ニ陥ルナキヲ保セス

一、短期借入資金ノ壓迫ヲ緩和スル件

九千萬乃至一億近キ巨資ヲ主トシテコール及手形賣出ニ求ムル結果金融梗塞ニ伴ヒ毎々苦シキ經驗ヲ繰返ヘシ金融上不斷ノ一大脅迫ヲ蒙レル現象ハ早晚何等カノ解決手段ヲ講スル必要アルハ論ヲ俟タサル所ナリシカ過般ノ事件發生以來信用上一大支障ヲ來シ金融ハ益々困難ヲ加ヘ既ニ日常ノ繰廻ニ一大苦痛ヲ感シ今ヤ行詰ノ状態ヲ呈セリ故ニ整理法案ノ骨子トシテ是非トモ短期借入資金壓迫ヲ緩和スル方法ヲ立ツル事焦眉ノ急務タル最早議論ノ餘地ナシ而シテ之ヲ達成スル途ハ現在ノ状態ノ下ニ~~ニ~~アリテハ政府及日銀ノ救濟ヲ請フノ外他ニ依ルヘキモノナシ抑借入ノ主因ハ六千餘萬圓固定貸ニアリ而シテ之カ整理完結ニハ少クトモ兩三年ハ要スヘク而シテ内地金融梗塞ノ状態ハ今後益々加ハリ緊縮程度ハ貿易入超ノ遞増ト相待チ益深刻ナラムトスル状態ニ鑑ミ且當行信用上ニ蒙リタル瘡痕ノ頗ル深ク且大ナルヲ思ヒ資金ヲ市場及

一般公衆ニ求メントスルノ容易ナラサルハ當然ノ歸結タリ仍リテ政府ニ對シ此窮狀救濟ヲ請フノ止ムナキニ至レルモノナリ而シテ大体ニ於テハ借入ノ約半額即五千萬圓ヲ特別ノ方法ニテ政府及日銀ニ融通ヲ請ヒ他ノ半額ハ一時從來ノ通り短期市場ニ於テ操縱スルモ差支ナシト認ム

而シテ凡參千萬圓ヲ政府預金部ヨリ貳千萬圓ヲ日銀ヨリ仰クコトトシタシ

一、右借入條件ハ政府ニ於テ興銀ヲ通シ融通セララルモ可ナリ其擔保ハ各種有價證券、商品、不動産（貸出金ノ擔保品）ヲ提供スルコト不足ノ場合ニハ銀行所有不動産ヲ差出ス

一、日銀借入ニ對シテハ公債類及同行ニテ再割承認ヲ受クヘキ諸手形

一、右借入金ハ少クトモ一ケ年据置償還期限兩三年間ニ亘ルヲ要ス

一、經費節約ノ件

此目的ヲ達スルニハ第一、部課廢合ヲ決行シ調査部ノ如キ間接機關ハ之ヲ縮少整理シ且ツ直接營業從事員ト雖モ出來得ル限り切り詰メ大々的人員淘汰ヲ勵行スルコト第二、宴會、寄贈其他雜費ヲ徹底的ニ節約スルコト、大体ニ於テ總經費ノ二割以上天引ノ覺悟ヲ以テ人員及經理ノ一大整理計畫ヲ立ツルコト



○第一表

收得利息其他（二月二十八日現在ニヨル）

一、貸出金

三六、五二八〇〇〇圓

内 二、九〇六〇〇〇圓

（二月末日發行殘高ヨリ平均推定殘高一億圓ヲ引去リタル高）

三三、九六二二〇〇〇圓

平均利 廻八%

二七、一六九七六〇圓

二、外國爲替益

一、五〇〇〇〇〇圓

三、諸手數料

七、五〇〇〇〇圓

四、有價證券配當

五、七三〇〇〇圓

總計

二、九、九一、七六〇圓

○第二表

一、政府貸上金

一、〇五〇〇〇〇圓 七%

七、三、五〇〇〇圓

二、別途貸

六、三、八〇三、六一三圓

四、九、二、五八〇〇圓

三、證書貸

八、四、五七四、二九圓 七%

五、九、一、九九〇圓

四、其他貸出

二、七、八七六、七〇〇圓

(11)

内 七、九〇六、〇〇〇圓 (五、〇〇〇千圓ハ利拂不能ノ貸金)

二、九〇六千圓ハ發行減縮同額

二〇六、八六、〇〇〇圓 一〇、% 二、九六八、六一〇〇圓

小計

二六、九三、八八〇圓

其他第一表ト同額

二、八二、三〇〇圓

總計

二九、七六、八九〇圓

支拂利息其他 (二月廿八日現在ニヨル)

一、銀行券平均發行高 (一ケ年)

一〇、〇〇〇、〇〇〇圓 内保證五、〇〇〇千圓

正貨四、〇〇〇千圓

限外一、〇〇〇千圓 七% 七〇、〇〇〇圓

二、預金

一五、六五、三六〇、三五圓 (現狀維持、公金) 五、<sup>4</sup>/<sub>4</sub>% 八、二一八、一四〇圓

及信託ヲ除ク



計 表 說 明

一、諸貸出平均利廻り目下約八歩ニ當リ金利昂騰ニ伴ヒ今後多少ノ増率豫想シ難キニ非ラサルモ一方利拂困難ノ貸出増加ノ傾向ナシトセス、假令ハ佐賀炭鑛ノ如キ其内一千萬圓位ハ一時利拂不能ノ状態ヲ示スナキヲ保セス旁増率ニヨル收入増ハ他面相殺セラルヘキ虞アリ仍テ平均利廻八歩ヲ保ツコトトセリ

一、預金利廻り目下約四分五厘六毛ニ當レルモ預金利息引上ケノ結果ニ鑑ミ平均五分二五、ニ引直セリ

一、借入金利率ハ平均八分二五、一八分五厘兩様トセリ蓋シ今後昂騰ノ狀勢ニ鑑ミ寧ロ此以上ニ達スル傾向アリト認ム

一、銀行券發行高平均殘高ヲ一億圓トシ正貨四千萬圓、保證五千圓限外千萬圓ノ目算ヲ以テ推算セリ

一、外國爲替買手形殘高一五〇〇〇〇〇〇圓純一割利廻リト看做ス前期及前々期ハ英米「クロツス」昂騰ノ結果英貨回復ニヨリテ磅持高ヨリ生シタル利益特ニ巨額トナレリ前期ノ如キハ磅ノミ

ニテ約百二十萬圓ヲ算シタルモ追々磅爲替常態ニ近ツカントスル結果今後ハ右ノ如キ特別「マージン」ヲ望ムハ不可能ナリ從テ外國部ノ利益ハ激減スヘシ

假令資金運用額増加スルモ一方支拂利息ノ増嵩ヲ來シ運用ノ差益ハ餘リ多大ノ望ヲ屬シ難シ

前期爲替利益一六五三〇〇圓ヲ算シタルモ約百萬圓程度減少止ムナシト認ム仍テ大体年百五十萬圓ヲ計上スルハ穩當ト認ム

一、手数料ノ科目モ七五〇〇〇圓ハ寧ロ多額ト認ム何者一方信託手数料ノ如キハ支拂ノ部ニ計上セサルモ信託證券三千萬圓ニ對シ二十萬圓位ハ支拂フヲ以テ彼是差引クトキハ手数料ノ純手取高ハ七五〇〇〇圓以上見積ルハ不可能ト認ム

一、前期利益ヲ標準トシ今期ヲ推定スルニ今期外國爲替益ノ減少

一見込減セ八十萬圓乃至百萬圓)及金繰困難ニ基ク高利借入等不利ナル事情多キニ鑑ミ少クトモ前期純利益金ヨリ百萬圓減少蓋シ當然ノ結果ト認ム

此見地ヨリスルモ當期二百七八十萬圓以上ノ利益ヲ計上スルコト至難ナルヘシ

程解物之理案

朝解  
物之理案



日本銀行  
井上準之助

朝鮮銀行整理案

一 欠損額

一 壹千貳百萬元之

此後收支豫想

收入

一 貳千七百九拾七萬元

貸主利息

一 二百萬元 為替益

一 九拾萬元 手收料

一 六拾貳萬七千元

有價証券  
配當

合計

參千四百九拾九萬七千元



合計

參千有四百九拾五元七角

支出

一 千六百四拾五元

被金借入金

利息

一 六百八拾元

經費

合計 貳千參百貳拾五元

缺高 八百貳拾四元七角

救正理案

半季利益金 貳分

一 金四百拾元

半季純益

內金百拾元

欠損金銷却

殊金

三百拾元

現金

三百拾萬圓

内

三一〇〇〇〇〇

積立

二〇〇〇〇〇〇

役員費

二五〇〇〇〇〇〇

配当  
準備

二〇〇〇〇〇〇〇

余裕

今

現金、貯蓄、隠し金、利

益金、貯蓄、万圓ヲ以テ

欠損ヲ銷却シ、之ヲ残

高千萬圓、對シテ

年々、貯蓄、万圓ヲ欠損

銷却、充當スルトキハ五

ヶ年々、整理ヲ終ル

今年、整理ヲ借ル  
ルヤラハ也

右ノ整理案ニ對ス  
非評

元一次損額、千七百圓  
圓ハスルハ過少ナリ  
細ノ調査ノ上ニテ  
確定シ、之ヲ  
不可ナレトモ

小寺洋行貸出

一七、二〇〇、〇〇〇、

担保金ト全部石動  
産ニシテヨシ其ノ價  
不足ナキモノ見テ  
夏分ニテ飛書ナリ

不逞十キモノト財ヲ其

夏分ニハ征常ノ志時

日ヲ要シ目下ハ利息

モ金リ滑リ其右極

十レハ之レヲ金リ確実

ノモノ見ル幾分日

欠損ト見ルヲ至其

ト可也

中村精吉

四、七、八、八、七〇〇

ノ内一、〇〇〇、〇〇〇圓ハ確

定ノモノト見ル殊余ハ

國定ニテ其ノ担保也

船<sup>船</sup>出炭、鑛、山木等類

昂ク妙分ニ難キモノ

志ヲ以テ幾分ノ欠損

志ヲ以テ裁命ノ必務  
ヲ見込リテ至極トスルコ

# 平林甚輔

三、五〇〇、〇〇〇

本人ノ遺言立書時態

甲ノ見ルハ大和リノ堀

之宛リタルコトナラシム

所積利息ヲモ支

拂フコトハ出来ざらん

甚堪之宛リモ何

時終リタル中ノ確

見見込リ之々甘ん

以テ幾割カノ欠損

ヲ計上スル至極トス

ノ計上元ノ至堂ト入

云

佐野山彦鑛会社

一六、二八〇、〇〇〇、

目下、伏見ノ云

将来ノ金ノ取

也故、取盡ル

換ノ見込又甚

ト云

加多田輔及

大連株式信託会此

貸出金

此ノ貸出金ノ如キ

此ノ貸出金ノ如キモハ  
其ノ整理ニハ能事  
努力ト時日ト下シ要  
此ノ貸金部ニ由  
テ行ルコトハ不可能  
ニ思フ幾分ノ欠換  
計上スルニ至ルモ  
從テ此等ノ圓貨  
六千圓ノ二割余  
欠換見ル  
欠換総額  
二千四百圓

二千四百元以内

換算收支計算

一、~~現金貸付六千四百元~~

~~圓八五分の利息を見~~

~~積込取扱の金~~

~~貸付の元金~~ 貸付

手形より利息の収

入の之より貸付金増

加り也。その後一切

貸付の現金収入

より之の固定費

利息の見込み



元以... 國... 實...  
利息之見... 此... 利  
息收入之減... 可也  
又明年十年後...  
經費... 八百... 改...  
園也... 之... 亦... 以...  
第... 園... 減... 額...  
靜... 定... 八... 酌... 量... 減  
能... 常... 戶... 志... 定... 心... 上...  
園... 難... 見... 可... 之... 送... 予  
利... 益... 及... 物... 色... 計... 集  
七... 予... 定... 之... 始... 之... 建... 之... 為... 之...

七、予定ノ如リ建方

不可能ト見ル外也

### 整理案

欠損額

二千四百萬圓

半季純益(予定ノ一割減)

三百七拾萬圓

者、

三百七拾萬圓

内百五拾萬圓

銷却

殊、  
貳百貳拾萬圓

此拾萬圓  
積立

五萬圓  
役員基金

此拾貳萬圓 續之

五萬圓

得馬其金

百七拾五萬圓

七分配者

合計貳百貳萬圓

殊高拾八萬圓

年々其矢多百萬圓

之銷却多しハ欠損

總計額 貳千四百萬圓

圓多 際々利息

貳百萬圓 之差引

先貳千貳百萬圓

之及列二ハ約七千圓

及至二六約七十年

之要なる可也

六分、配当ヲ減スル

政府持株、配当シ

必要トセサルヲ以テ半

季の九萬圓一年拾八萬

圓、鎖却金ヲ増加

スリシは、故々年々

鎖却金シ

矢多百五拾萬圓

拾八萬圓

ソ矢多百六拾八萬圓

トナリ六年、整理ヲ

終了スルヲ以

必要トセサルヲ以テ半  
季九萬圓一年拾八萬  
圓、鑄却金ヲ増加  
スリシヨレ被ク年々

鑄却金ヲ

矢多百五拾萬圓

拾八萬圓

ソ矢多百六拾八萬圓

トナリ六年々整理ヲ

終了スルヲ以テ

十二年四月廿九日